

**PC 接続型**  
**超音波式風向風速計**  
**WM7-RPE1**  
**取扱い説明書**



## 目次

WM7-RPE1 について .....	3
注意事項.....	3
同梱品 .....	3
設置手順.....	4
WM STATION のインストールと接続テスト。 .....	4
1) 最初にドメイン名の設定をします。 .....	4
2) 次に接続テストを行ってください。 .....	5
仮設テスト.....	5
1) WM7-RPE1 と PC との接続.....	5
2) 平均／最大風向風速のアップロードのテスト .....	7
WM7-RP 風向風速計の設置.....	8
WM7-RPE1 風向風速アップロードシステム設置例 .....	9
アップロードされる風向風速.....	9
風向風速情報アップロード用の Web ページについて .....	9

## WM7-RPE1 について

WM7-RPE1 は電源とネット接続環境およびパソコンのあるテイクオフ場やランディング場に設置することで、風向風速をインターネット経由でリアルタイムに知ることができる超音波式風向風速計測システムです。

10m のモジュラーケーブルで接続されるので、計測器を屋外の高所に設置し、ケーブルを屋内に引き込んでパソコンに接続して使用することができます。

パソコンに WM STATION をインストールすることで、風向風速計から送られてくる計測結果をグラフィカルに表示でき、さらに Web ページ上に計測結果をアップロードすることもできます。

## 注意事項

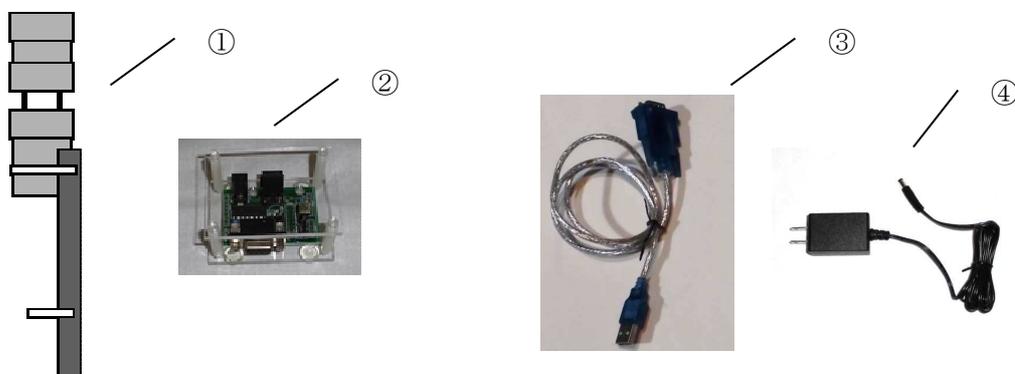
WM7-RP にある 25mm のギャップはデリケートな計測部です。設置作業の際などにこの部分に強い力が加わらないよう注意してください。また、計測部にある金属部品に触れないようご注意ください。電子部品が静電破壊する恐れがあります。

WM7-RP 風向風速計は風雨に耐えるよう防滴性能を持つように設計されていますが、垂直に立てないと防滴性能はなく、正しい測定もできません。

設置場所は雨以外の水がかからない場所を選んでください。

海水、湖水、河川、または放水の水が掛かってしまうような場所では故障の原因となる場合があります。

## 同梱品



- ① WM7-RP 超音波式風向風速計 (10m モジュラーケーブル付)
- ② WM7-Eβ PC インターフェイスボード
- ③ RS232C-USB インターフェースケーブル
- ④ AC アダプター (9V)
- ⑤ RPE1 セットアップシート

WM7-RP のスチールアングルは取り外した状態で梱包されていますので、付属のステンレスバンドで取り付けてください。

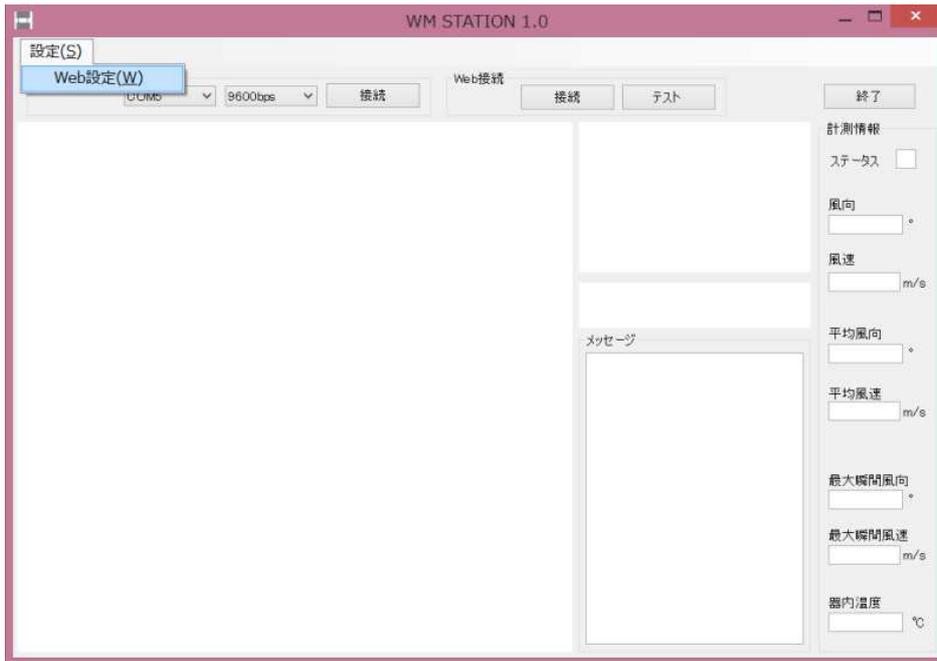
## 設置手順

WM STATION のインストールと接続テスト。

最初に WM STATION を Parawind Lab のホームページからダウンロードしてインストールしてから起動してください。

1) 最初にドメイン名の設定をします。

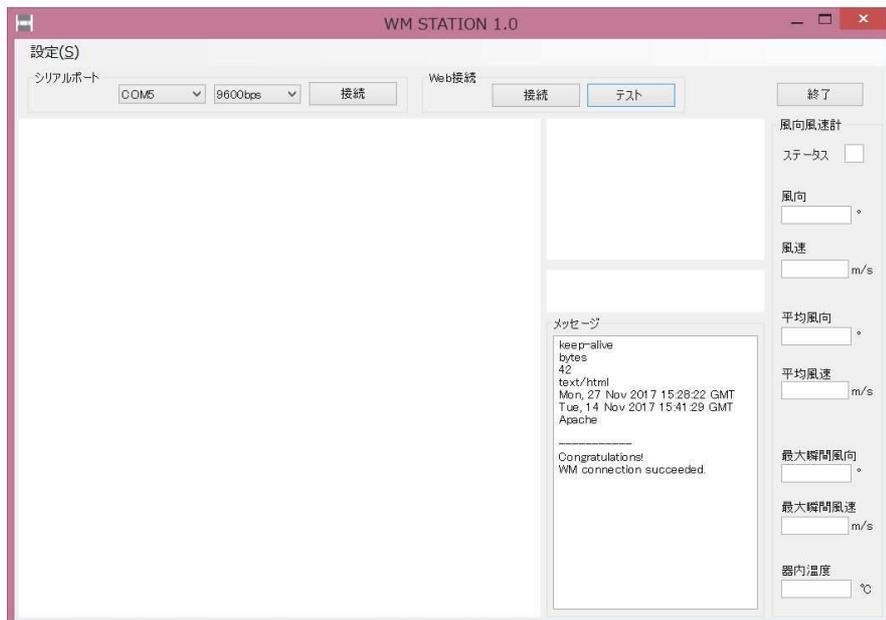
画面左上の「設定」プルダウンメニューから「Web 設定」をクリックしてください。



「Web 接続設定」という子ウインドウが現れますので、RPE1 セットアップシートに記載されている接続先アドレスを記入して[登録]ボタンをクリックしてください。



2) 次に接続テストを行ってください。



画面上部の「Web 接続」グループの[テスト]ボタンをクリックしてください。

右下のメッセージボックスの最後の 2 行に、

**Congratulations!**

**WM connection succeeded.**

と表示されれば Web サーバーとの接続は成功です。

WM STATION は一般的なネット環境で動作するように作られていますが、ネット環境によっては Web サーバーへの接続ができない場合があります。

## 仮設テスト

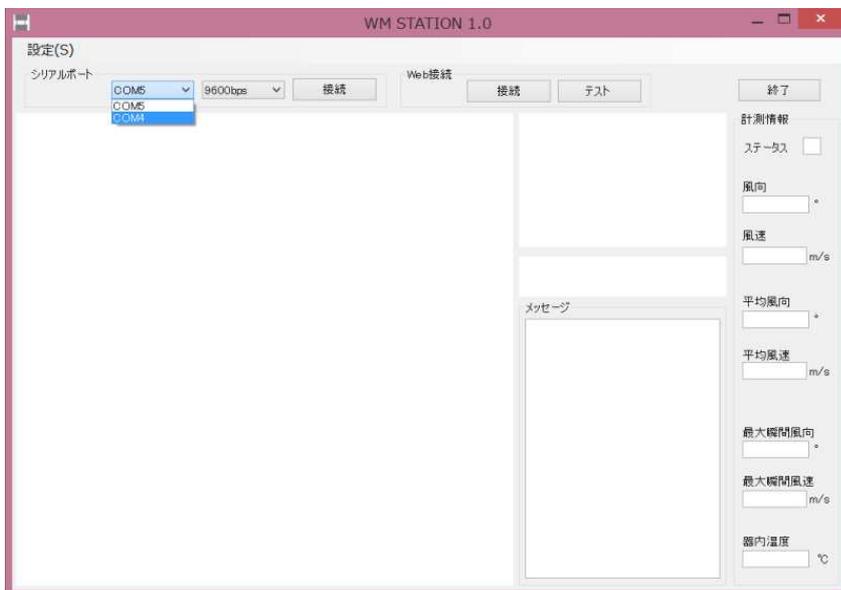
WM7-RP 風向風速計を高所に設置する前に仮設テストを行ってください。

### 1) WM7-RPE1 と PC との接続



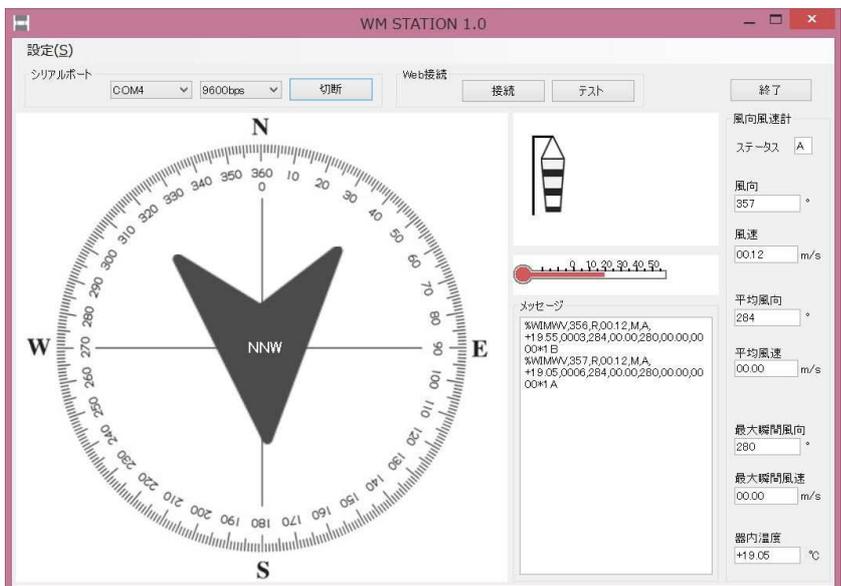
左図のように WM7-RP の下部から出ているモジュラーケーブルを WM7-E β PC インターフェース基板に接続し、さらに RS232C-USB インターフェースケーブルで PC に接続してください。

WM STATION の画面上部にある「シリアルポート」グループの COM プルダウンメニューボタンをクリックすると接続可能な COM ポートが表示されますので、WM7-Eβ を繋いだポートを選択してから「接続」ボタンをクリックしてください。



COM ポート番号は PC の環境によって異なります。わかりづらい場合は、RS232C-USB インターフェースケーブルを外した状態で WM STATION を起動してプルダウンメニューの COM ポートリストを調べておき、アプリを終了させてからケーブルを繋いで再びアプリを起動し、COM ポートリストを見て新しいポートが追加されていればそのポートを選択します。

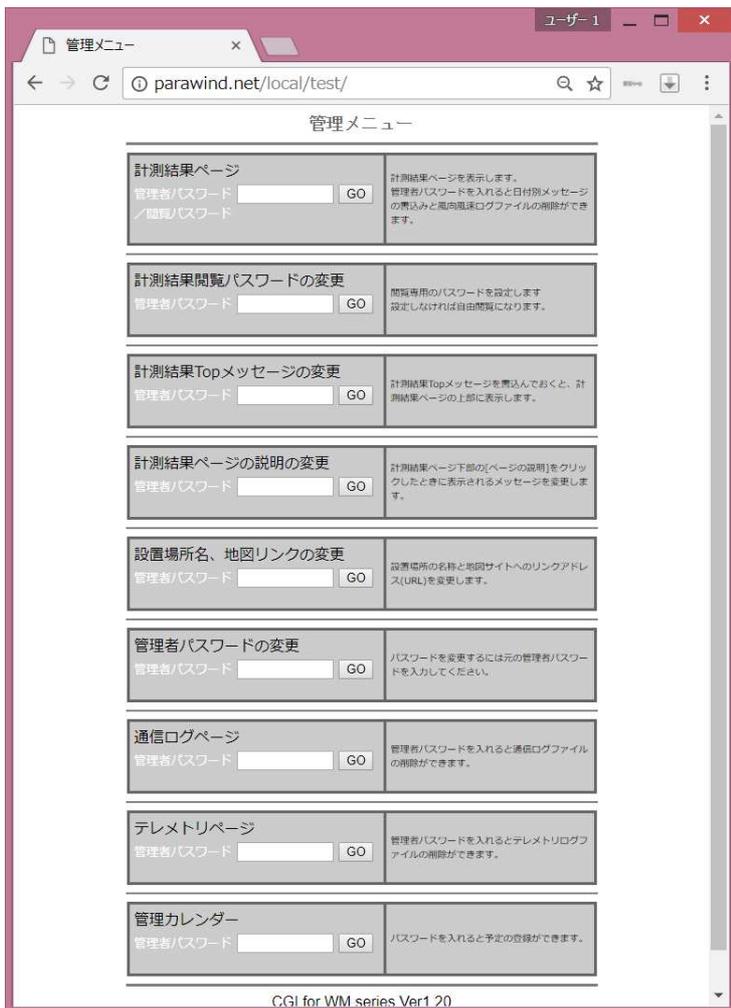
WM7-Eβ に繋いだ AC アダプターを電源コンセントに差し込んで電源を入れてください。



WM-7RP が起動して風向風速データを送り始めると、現在風向風速の値が画面右側の「風向風速計」グループの表示ボックスに表示され、同時に中央のグラフィック表示ボックスに風向と風速のグラフィカル表示が現れます。

次の、平均／最大風向風速のアップロードのテストを行うため、画面上部の「Web 接続」グループの[接続]ボタンをクリックしてください。

## 2) 平均／最大風向風速のアップロードのテスト

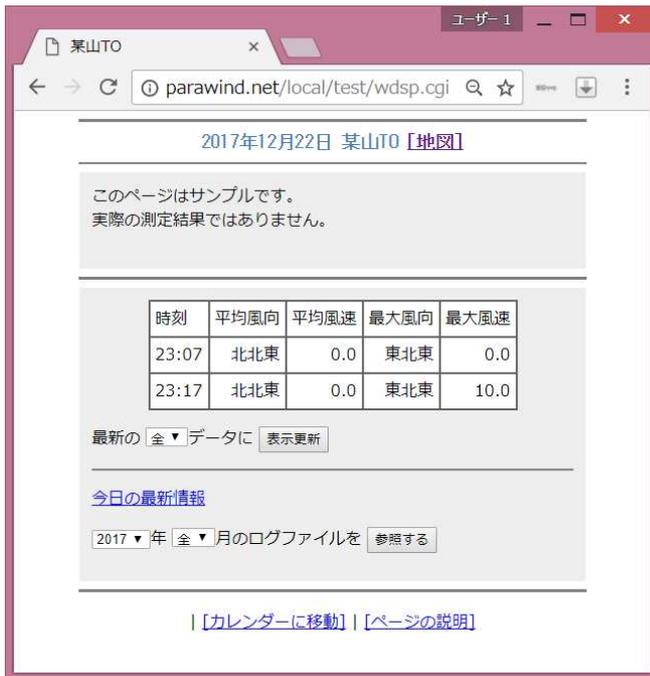


左図は WM STATION のウインドウではなく、ブラウザのウインドウです。

RPE1 セットアップシートに記載の管理メニューのアドレスにブラウザからアクセスし、「通信ログページ」の項目の[GO]ボタンをクリックしてください。



左図のように起動時のログが記録されていればデータのアップロードができています。



さらに、20分程度待つてから管理メニューに戻り、「計測結果ページ」の項目の[GO]ボタンをクリックしてください。平均/最大風向風速データがアップロードされていることを確認できます。

(管理者パスワードを入力してから計測結果ページを表示させると「この日の風向風速ログを削除」というリンクが表示されますので、テストの風向風速データは削除してください)

以上で仮設テストは終了です。

WM STATIONの「終了」ボタンをクリックしてアプリケーションを終了させ、ACアダプターを抜いてWM7-RPE1システムの電源を切つてから、全てのケーブルを外してください。

## WM7-RP 風向風速計の設置

WM7-RP 風向風速計は付属のバンドで直径3~5cm程のパイプの先端に取り付けることができます。風速計の▼マークを真北に向けて設置してください。

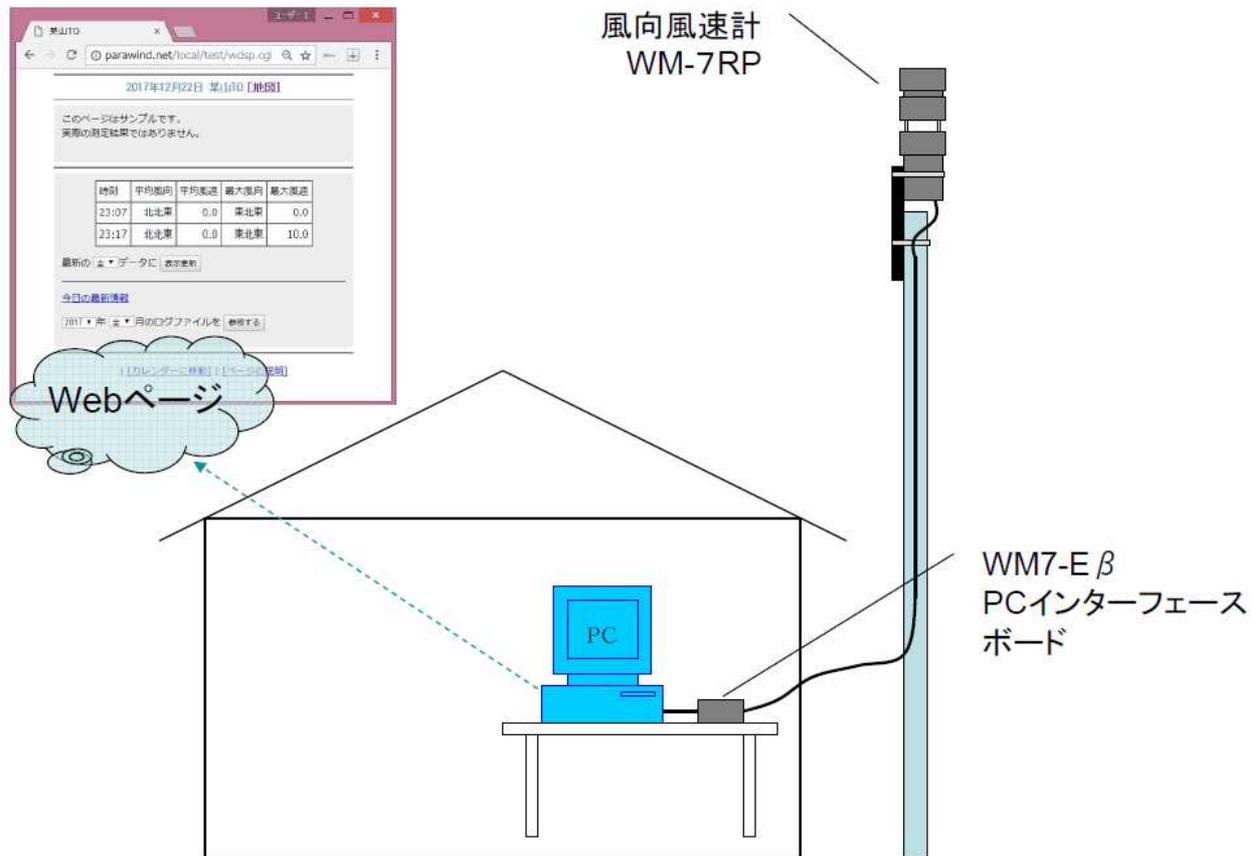
設置時に最上部の計測部に強い力が加わらないようご注意ください。  
また、計測部の金属部品に触れないようご注意ください。

風向風速計の下部から出ているケーブルをパイプに沿わせて配線して屋内に引き込み WM7-Eβ に接続してください。

ケーブルは適宜インシュロックタイまたはビニールテープなどでパイプに固定してください。  
設置時にケーブルをポールやフレーム、金属バンドなどに挟み込まないようご注意ください。

## WM7-RPE1 風向風速アップロードシステム設置例

### WM7-RPE1 風向風速計設置例



設置が完了したら、仮設テストのときと同様にテストしてください。

### アップロードされる風向風速

風向風速情報は 10 分間平均の 16 方位風向情報と 0.1m 単位の風速です。

### 風向風速情報アップロード用の Web ページについて

風向風速情報アップロード用の Web ページは Parawind から無償で提供されます。

WM7 風向風速計は気象業務法で定められた気象観測機器としての検定は受けていません。

風向風速情報の取り扱いには気象業務法を順守するようご注意ください。